

「中海の利活用」における
重点取組及び成果目標設定の進め方

● R2. 6月

第15回中海の活用に関するワーキンググループ

- ・ 今後10年間を見据えた各取組項目（9項目）における「基本理念」の設定

● R2. 9月～R3. 3月

重点取組及び成果目標の具体的検討

- ・ 各取組項目における「重点取組」「成果目標」を具体的に検討
- ・ 検討メンバー：鳥取、島根両県WG事務局、国土交通省、各取組項目関係機関
- ・ 検討手順
 - ①各取組における課題の抽出
 - ②課題の解決策検討
 - ③解決策に向けた関係機関の役割分担の明確化
 - ④基本理念に基づいた重点取組（案）の設定（各取組の中から選定）
 - ⑤重点取組における成果目標（案）の設定

● R3. 6月（予定）

第16回中海の活用に関するワーキンググループ

- ・ 各取組項目における「重点取組」「成果目標」の設定
※設定した「基本理念」、「重点取組」、「成果目標」を報告書へ反映

「中海の利活用」各取組項目における基本理念

中海で遊ぶ～中海のスポーツ利用～

①中海周遊サイクリングの推進

【基本理念】中海周遊サイクリングを活用した「サイクリングの聖地」の確立

②マリンスポーツ・レクリエーションの推進

【基本理念】自然豊かな中海を活かしたマリンスポーツ等が楽しめる拠点づくりの推進

中海を観る～中海の観光利用～

③中海周辺観光

【基本理念】自然豊かな中海を活かした観光振興の強化

中海を活かす～中海資源の活用～

④水産資源の活用・回復

【基本理念】中海の各種水産物を活用した地域振興の推進

⑤中海の「藻」の活用

【基本理念】中海の藻の循環システムの構築

⑥大型水鳥類との共生に着目した流域づくり

【基本理念】大型水鳥類をシンボルとした観光振興の推進

「中海の利活用」各取組項目における基本理念

中海を知る～環境教育～

⑦中海を題材とした環境教育

【基本理念】次世代へ繋ぐための中海のワイズユースの持続

中海でつながる～一体感の醸成～

⑧ラムサール条約普及啓発の取組

【基本理念】豊かな中海の保全・再生と次世代に繋げる取組の推進

⑨中海ワイズユース住民活動の推進

【基本理念】中海を利活用した地域主体イベントの支援

最近の特徴的な成果・取組

取組①関連

- 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース全線供用開始（R1年度）
- 河川管理用通路マップの作成（R1年度）
- 広域サイクリングルートサイトのサイクリングマップ改訂（R1年度）

取組②関連

- 国宝松江城マラソンの初開催（H30年度）

取組③関連

- 中海・錦海かわまちづくり計画の登録（R1年度）
- 水陸両用機（拠点：なかうみスカイポート）の運航（R1年度）

取組④関連

- 中海産赤しとれトカレーの販売開始（H30年度）

- マハゼの陸上養殖試験開始（H30年度）

取組⑤関連

- 海藻を活用した肥料の製造・販売（R1年度）
※H30以前に実施していた企業からR1に事業継承した企業が実施

取組⑥関連

- インバウンドモデルツアーの開催（R1年度）
- 宍道湖・斐伊川環境フェアの開催（R1年度）

取組⑦関連

- 中海周辺の身近な生き物の現地観察会の開催（R2年度）

取組⑧関連

- ラムサール条約湿地登録15周年記念イベント等の開催（R2年度）

取組⑨関連

- よなごベイ・ウォーターフロント検討会設置（R1年度）

「中海の利活用」における 重点取組及び成果目標設定イメージ

イメージ1：①中海周遊サイクリングの推進

基本理念：中海周遊サイクリングを活用した「サイクリングの聖地」の確立

課題

- ◆ ことどもから年配の方まで安全に楽しめるための車道の分離や狭小箇所改善等
- ◆ 未舗装の河川管理用通路での快適な自転車走行が困難
- ◆ サイクリングコース及びコースに付随した観光スポットの魅力向上・情報発信の強化（アプリの開発等）

重点取組

- ◆ 地域のニーズを踏まえた未舗装区間における舗装の実施、車止めの改良、かわまちづくり等による河川管理用通路の整備
- ◆ 各サイクリングマップの充実と活用、相互誘客に向けた検討

【令和元年度の取組】

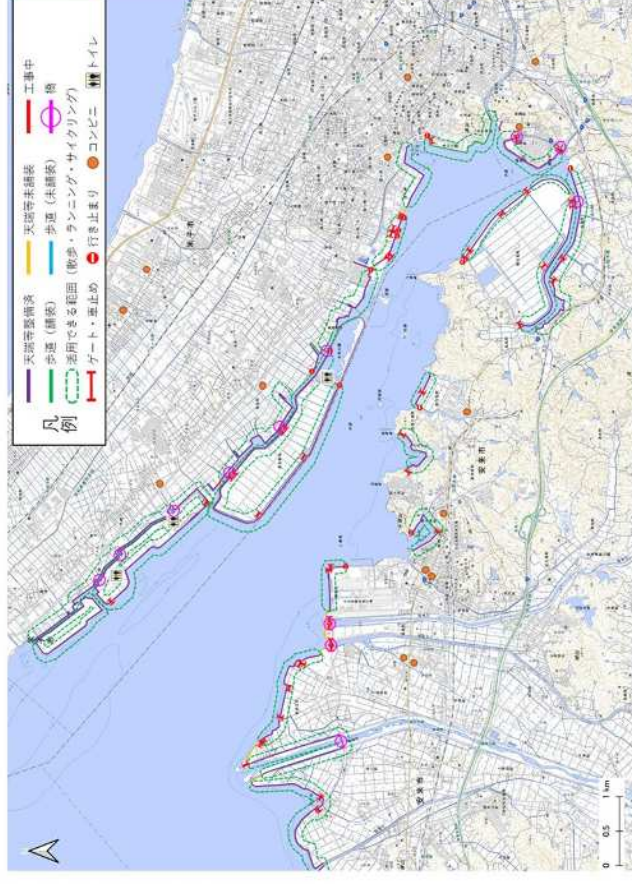
- ◎ 利用ニーズを踏まえた河川管理用通路の整備検討のための河川管理用通路マップの作成（R2.3月）
- ◎ 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース全線供用開始（R2.3月）

成果目標

- ◆ あらゆる世代が安全安心に楽しめるサイクリングコースづくりを行うとともに、「サイクリング」と「観光」の融合
- ◆ 令和〇年度までに河川管理用通路〇〇箇所の整備
- ◆ 令和〇年度までに中海圏域のサイクリングコースを活用したサイクリングイベントの参加者〇〇〇人の増加



舗装済の河川管理用通路とサイクリングに支障となる車止め



河川管理用通路マップ（抜粋）

基本理念：自然豊かな中海を活かした観光振興の強化

課題

- ◆水上観光と周辺観光施設の周遊力の強化
- ◆道の駅等の観光拠点施設との連携

重点取組

- ◆交通の結節点としてのポテンシャルを有する「米子・錦海かわまちづくり」の整備促進
- ◆海外向けのプロモーションとして、英語版ホームページの充実やSNS等を活用したWebによる情報発信の充実
- ◆「なかうみスカイポート」を拠点に民間企業による水陸両用機の運航のほか、浮き桟橋を活用したアクティビティなどの水面利用やサイクリング、野鳥観測等、中海周辺の地域資源を活用した中海周辺地域の交流人口の増加

【令和元年度の実績】

◎中海・錦海かわまちづくり計画の事業化（R2.2月）

成果目標

- ◆観光拠点施設との連携及び水上観光の活性化
- ◆令和〇年度までに水上観光拠点の整備
- ◆令和〇年度までに中海周辺観光客〇〇〇〇人の増加



中海・錦海かわまちづくり



日常的な住民利用



加茂川・中海遊覧船



米子市民レガッタ
(米子市HPより引用)



中海オープンウォータースイム
(米子市HPより引用)

イメージ3：⑥大型水鳥類との共生に着目した流域づくり

基本理念：大型水鳥類をシンボルとした観光振興の推進

課題

- ◆水鳥の生息環境の悪化が見られる箇所が存在
- ◆中海の魅力を発信するためのツール等の強化
(道の駅等の観光拠点施設との連携等)
- ◆インバウンド需要の高まりへの対応

重点取組

- ◆関係機関・団体と連携した観光の取組へ推進
- ◆水鳥観察箇所において、中海の魅力を発信するための多言語案内看板の設置を検討

【令和元年度の取組】

- ◎宍道湖・斐伊川環境フェアの開催 (R2. 2月)
- ◎インバウンドモデルツアーの開催 (R2. 2月)
- ◎多言語案内の概略検討 (R2. 3月)

成果目標

- ◆豊かな自然環境の保全・創出・活用による大型水鳥類との共生できる地域づくり
- ◆令和〇年度までに多言語案内看板〇〇箇所の設置
- ◆令和〇年度までにインバウンドツアーの実施等による外国人観光客〇〇〇人の増加



インバウンドモデルツアーの開催

【参加者からの意見】

- ・リラックス（座れる）場所がほしい
- ・看板に英語の記載がないことが多い
- ・英語の記載があっても簡略化されていることが多い
- ・QRコードから英語のWebサイトにアクセスできるとよい

《多言語案内概略イメージ》

